

医療法人稲生会（所在地：北海道 札幌市）

事業名	重度障害者による「地域共生社会」の実現に向けた大学相当の研究機会を創出するための実践研究
------------	----------------------------------------------

研究テーマ	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">学校から社会への移行期</td> <td style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">○</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">生涯の各ライフステージ</td> <td style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">○</td> </tr> </table>	学校から社会への移行期	○	生涯の各ライフステージ	○	主な対象	身体・重症心身障害者等
学校から社会への移行期	○	生涯の各ライフステージ	○				

事業の趣旨・目的

- 肢体不自由、とくに日常的に人工呼吸器等の高度な医療的ケア等の支援を必要とする障害者とともに生涯学習の場を創出する「みらいつくり大学校」を運営し、実践の場として課題や効果を検証する
- 「重症心身障害者とともに探究するプロジェクト」で得られた学びを通して「新たな学び」の概念化を試みる

事業実施体制・連携先

連携協議会：障害当事者（1名）、北海道大学教育学部教授、藤女子大学准教授、特別支援学校教頭、普通高等学校校長、道特別支援教育主査、道生涯学習課、訪問看護ステーション管理者等9名で構成。みらいつくり大学校の企画運営および学びの概念について検討を重ねた。

学習プログラムの内容

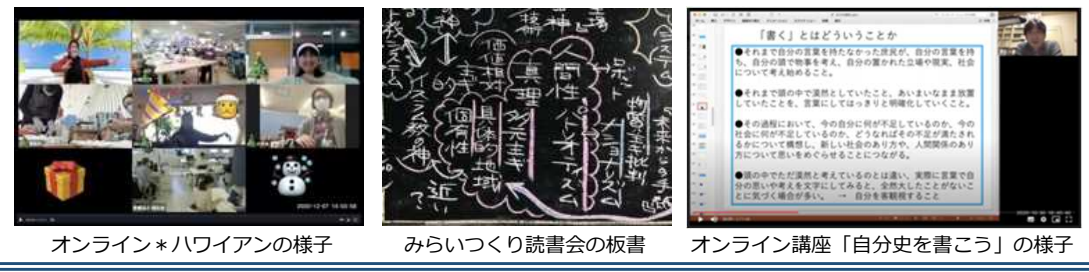
- みらいつくり哲学学校：2つの課題図書を読み合いながらともにオンラインで「哲学する」試み。
- みらいつくり読書会：課題図書を読み、各々の解釈をオンラインで共有し、語り合う場。
- みらいつくり映画同好会：多種多様な映画を各々が視聴後にオンラインで好き嫌いを含めた感想を語り合う場。
- オンライン＊ハワイアン：障害児者や高齢者等誰しものが参加しやすい「チェアーフラ」をオンラインで体験する場。
- みらいつくり食堂@Zoom：空間を超えてオンラインで同じ料理を作りともに食事をする場。
- しさくの広場：生活の中で紡いだ詩を表現し、HPを介して鑑賞する場。
- お手話べり：障害児の母を講師に迎え、オンラインで手話を学びあう場。
- オンライン講座：「自分史を書こう」「宗教学」「メディア論」

研究の成果と課題

- <成果>
- 新たな学びの概念の探究およびその普及方法の探究ができた
 - 空間/時間の共有を前提としない「ともに学ぶ場」の実践ができた
 - 障害当事者とともに講座の企画運営および報告を実践できた
 - オンラインによる学びによって、外出準備や介助者/移動手段の手配を省けた。遠方の参加者とも学びを共有できた
- <課題>
- オンラインによる学びは身体的接触や視線すら交わせない場であるが故に、実際の交流の場、体験の場への望みも強まる
 - 当法人以外の事業所等との連携およびネットワーク構築の観点、また活動を広く普及啓発する観点からは未だ開拓の余地がある
 - 重症心身障害者とともに探究するプロジェクトの次なるステップの検討が課題として残されている

その他研究の詳細など

みらいつくり研究所 <https://www.futurecreating.net>



オンライン＊ハワイアンの様子

みらいつくり読書会の板書

オンライン講座「自分史を書こう」の様子